



町家の外観調査を実施しました

- ・金沢市内の旧城下域や金石・大野町地区には、数多くの金澤町家が現存しています。金澤町家研究会では、金沢市からの委託を受け、これらの地区に残る全ての町家を対象とした実態調査を夏から秋にかけて実施しました。
- ・このような金澤町家の全数調査が行われるのは今回が初めてでしたが、大学などの研究機関をはじめ、市民調査員の方々の参加により、無事に全ての現地調査を終え、現在とりまとめ作業を進めています。調査した内容は、今後、市民共有の資産である金澤町家を次代へ継承していくための方策を考える基礎データとして活用していきます。

調査にご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

「町家巡遊 08」(10/3～11/3)

- ・10/3より1ヶ月間にわたって、4つのエリア33箇所の金澤町家を巡りながら、その素晴らしさを味わっていただく「町家巡遊 08」を開催しました。期間中、延べ2千人前後の方々にご参加いただきました。

町家拝見 ～普段は見ることのできない一般の町家を期間限定で公開～

- ・「町家拝見」の会場となった町家では、住まい手さんや作り手さんが温かく迎えてくださり、町家の魅力や町家での暮らしなどについて、直にお話を聴くことができました。
- ・町家に北欧家具を設えた「金澤・町家暮らし」には、2日間で延べ300人以上の参加がありました！「金澤 町家暮らし - 北欧家具と苔庭と -」のようす



町家 de マナブ ～町家を生業の場としているプロによるミニレクチャーを開催～



- ・「町家 de マナブ」では、建具や畳の職人、庭師など、町家を生業の場としている様々な分野のプロによるミニレクチャーを行い、仕事場としての町家の魅力を味わっていただきました。
「庭師と町家のくらし今昔」のようす(左)
「職人町と町家の建具屋のはなし」のようす(右)

町家 de アート ～コンサートや演劇などのアートイベントを通じて町家の魅力を発信～

- ・「町家 de アート」では、インスタレーションやコンサート、演劇などのアートイベントを通じて、町家の空間の魅力を味わっていただきました。
- ・4回シリーズで行われたコンサートには延べ140人の参加がありました。最終日には、町家巡遊のテーマソング「私の町 forever」も発表されましたよ



コンサートのようす(左) グループ展「家」のようす(右)

このほか、町家の賃貸・売買物件をご自身の足で巡っていただく「住みたい町家を探そう」や、お薦めの町家ショップを紹介する「町家ショップめぐり」にも、たくさんの方にご参加いただきました！

スタッフ募集

- ・金澤町家研究会では、来年10月に行う『町家巡遊 09』の開催に向けて、今から企画作業に入ります。関心のある方はスタッフとして参加しませんか？
- ・皆様のご参加をお待ちしております！

金澤町家セミナー 金澤町家の継承と活用に向けて

- ・「町家巡遊 08」最終日の 11/3（月祝） ひがし茶屋休憩館にて、金澤町家セミナーが開催され、約 60 名の参加者がありました。
- ・セミナーでは、瀬戸達氏（NPO 法人歴町センター大聖寺）より基調講演を頂いたほか、金澤町家再生に向けた取り組み（金沢市町家再生推進室室長平木清志氏）や「町家巡遊 08」の活動（金沢大学 藤田和也氏）について報告がありました。
- ・さらにパネルディスカッションでは、瀬戸達氏、太田浩司氏（土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会）、奥村久美子氏（研究会）、片山正芳氏（研究会）により、「金澤町家の継承と活用に向けて」をテーマとした討論が行われ、「全国へ活動を発信するとともに加賀地域ともネットワークを強化すべき」、「こまめにイベントを開催することで周囲への波及効果も期待できる」、「借り手がつくような町家の発掘が必要」、「由緒ある町家を守ることが由緒ある町を守ることにつながる」との意識を持って欲しい」などのご意見が出されました。



< 基調講演会の概要 > 大聖寺 町家とまちづくり 瀬戸達氏（NPO 法人歴町センター大聖寺）



- ・大聖寺では、民間を主体としたまちづくりを展開しており、どうしても手が届かない部分についてだけ行政等に支援をお願いしている。
- ・まちづくりにおいても、人と同様に「お金」「心」「体」「交流」の 4 つが健康であることが成功の秘訣となる。

・私の活動に対して、当初は批判的な人もいたが、一生懸命に取り組んでいる姿勢が伝わるので、様々な人達がまちづくりに協力してくれた。例えば、北国街道に石畳を敷き、一里塚を再生した際（H6～）も、「50 年、100 年後も歴史あるまちを子ども達に残したい」との想いが伝わり、石材や九谷焼絵皿などをすべて無料で提供してもらうことができた。

- ・また山ノ下寺院群では、地域住民自らが協議会を組織し、「まちの調査 ルールづくり 建築物の審査」を行うなど、特徴的な景観まちづくりを実現させている。
- ・まちづくりは、バカになれる人：1 人と、半分バカになれる人：2 人の計 3 人が集まれば、すぐにでも活動をスタートできる。自分達が楽しみ、また地域のためになれば、メンバーもどんどん増えていくだろう。

金澤町家句会

- ・毎月第 1 木曜日の 18 時半より、東山の町家で「金澤町家句会」を行っています。
- ・やさしく手ほどきいたしますので、初心者の方も気軽にご参加下さい。次回は 12/4（木）です。

零余子飯鄙の温みや祖母の顔
朝顔やけなげに今日も咲きにけり
熱燗や今宵の相手窓の月
ヘルニアを堪へて絞る夜寒かな
露西亞語の朝昼夕べ夜長かな

江口清
塩川文雄
熊澤裕可里
熊澤栄二
アスタア

シリーズ連載 ・地域資源を活かした賑わいづくり - 土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会（高岡市） -

- ・JR 高岡駅より北西に位置する旧北陸道沿いに、山町筋（やまちょうすじ）と呼ばれる土蔵造りの町家やレンガ造りの洋風建築物が特徴的な町並み（重要建造物群保存指定地区（5.5ha））があります。
- ・山町筋では、地区住民による「土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会」が組織され、歴史的な建物等の修景をはじめ、高岡御車山祭り（5 月）の保存・継承や土蔵フェスタ（8 月）、ひなまつり（3 月）、天神様祭り（1 月）などの各種イベントにも取り組まれています。



土蔵造りの町家が特徴的な山町筋の町並み

NPO 法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】水野

〒920-0992 金沢市上柿畠 4-1-202（住所が変わりました）

(有)水野雅男地域計画事務所内

E-mail mmasao@mb.infoweb.ne.jp

<http://webserv.ce.t.kanazawa-u.ac.jp/kawakami/machiya/index.html>